

第5回 大村智 自然科学賞 表彰式 教育長あいさつ

第5回大村智自然科学賞表彰式にあたり、保護者の皆様、学校関係者の皆様、および来賓の方々のご臨席を賜り、表彰式が開催できますことに心より感謝申し上げます。また皆様におかれましては、平素より本県の教育活動の振興と充実につきまして多大なご尽力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

大村智自然科学賞は県内出身者で初めてノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生のご功績を讃えると共にそれに続く若者の育成を目的とする「大村智人材育成プロジェクト」の一貫として平成28年度に創設されました。中学生・高校生の科学に対する興味・関心・知的探究心を高め、先端科学技術の発展に寄与できる人材を山梨県から輩出することにつなげて参りたいと考えます。

さて坂本さん、中嶋さん、あらためて受賞おめでとうございます。今お二人に賞状と楯及び副賞を授与させていただきましたが、何よりもお二人の旺盛な知的好奇心と未知の事柄に対して積極的に挑んだ研究活動に対し敬意を表したいと思います。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校の臨時休業が続く、研究活動が思うようにできない状況があったのではないかと思います。しかしそのような中でも、研究を工夫し、新たな課題を見つけながら挑戦を繰り返し、大きな成果につなげ、レベルの高い研究成果をお二人は得られております。

大村先生が自らの人生を描いた「大村智ものがたり」では、逆境を克服し多くの人々との交流から未来を切り拓いていく場面がいくつか紹介されております。その中では、高校教師を勤めながらも、研究の時間を作り出すため、土日に大学に泊まり込み、実験に没頭する姿が描かれております。また一方では、研究に行き詰まった大村先生に親身になって助言する先輩研究者との場面も紹介されております。アメリカ留学時代には恩師マックス・ティシュラー先生と出会います。公私にわたる深い交流が後の大村先生のノーベル賞受賞へとつながるのです。

これらのエピソードは何事にも粘り強く挑戦することと人とのつながりの大切さを私たちに教えてくれます。今回の受賞を一つの良いきっかけとして、今後も独創性に満ちた自由な発想を大切に、未知なることに他の人たちと協力しながら挑戦してください。そして研究を継続し更なる成長を期待しています。

今日グローバル化の進展により、感染症、環境問題やエネルギー資源の問題等、地球規模の人類共通の課題が増大しています。こうした課題を解決し持続可能な社会を築いていくために、独創的な学術・科学技術の担い手となる人材を様々な分野で育てていくことが求められています。大村智自然科学賞が中学生・高校生の科学に関する興味関心の喚起を図り、研究の楽しさを知る一つのきっかけとなり、第二、第三の大村先生がこの山梨から輩出されることを願っております。

結びに、日頃よりご指導に当たられている学校関係者の皆様、及び選考にご協力いただきました選考委員の皆様、そして長年にわたり山梨県の科学教育にご支援いただいている大村智先生に深く感謝申し上げます、山梨県教育委員会のあいさつといたします。本日はおめでとうございました。